

ぎょうだ歴史ロマンの道ガイドブック 3

さきたま 歴史ロマンの旅コース

GYODA HISTORICAL ROAD GUIDE BOOK

埼玉古墳群から古代蓮の里へ

埼玉県名発祥の地である行田市埼玉地区とその周辺は、数多くの文化財が残された歴史ロマンあふれる地域です。

古墳時代には国内有数の規模を誇る埼玉古墳群が築かれ、現在の古代蓮の里周辺には、古代蓮が美しい花を咲かせていたようです。

平安時代には盛徳寺、前玉神社が創建され、『万葉集』にはこの地域を歌った「埼玉の津」「小埼玉の沼」の歌が収められました。

時代が下って江戸時代には、前玉神社と小埼玉沼に万葉歌碑が建立され、万葉の昔をしのぶ風土が形成されて行きました。

一方、現在の古代蓮の里付近に広がっていた小針沼は、きょうほう享保の改革によって新田開発が行なわれ、ようえかんのんぼさつ近くの成就院には三重塔が建てられ、みずか葉衣べんてんもんび観音菩薩が安置されて信仰を集めました。人々は水塚を築いて水害を避け、排水のために辯天門樋等を整備して、沼地を豊かな土地へと変えて行きました。

こうした人々の思いや願いが託された文化財を巡り、県名発祥の地さきたまの歴史・文化・風土を、ぜひ体感してみてください。

